

本年度会員相互交流委員会では、会員同士がお互いの気持ちを理解し、揺るぎない信頼関係を築いたうえで真の友情を取り戻し浦安青年会議所が一丸となれるよう事業を構築し活動してまいりました。

まずは1月第一例会「新年例会」において関係諸団体をお招きし、会員が一丸となって運動の発信を行いました。委員会の枠をこえて会員全員で作りに上げた新年例会を開催することができ、本年もお世話になる来賓の皆様には浦安青年会議所の団結力をお見せできたと感じました。

つぎに8月第一例会「勝ち残ろう！浦安J C格付けクイズ」を開催しました。委員会の枠をこえて会員の入会及び熟練度順を考慮し均等に組み分けを行い、組対抗で和気あいあいとクイズを楽しめる事業を企画しました。問題を解く会員はお互いの意見を尊重し、気持ちを汲み取りながら挑む姿勢で、正解不正解では普段例会では見られない喜怒哀楽を大きく表現する姿が見られました。さらに9月第一例会「ストリートラグビー浦安大会」を新浦安駅前広場で開催し、浦安青年会議所会員とまちゆく子どもたちを中心にラグビーを体験していただきました。浦安市が来年行われるラグビーワールドカップのキャンプ地となっていることも含め、市民の皆様のスポーツへの機運が高まりとともに、チームプレイをすることによって参加した会員同士の信頼関係も高まりました。また10月には交流企画として「～全力で楽しもう～ボーリングと懇親会」を開催し、会員同士のコミュニケーションをより深めるため開催いたしました。ボーリングという誰でも一度はやったことのある競技で楽しく懇親を深められましたが、参加者が本年度の事業の中で最低だったのが心残りとなりました。

本年の各事業においては会員に光を当てて、個人個人が輝けるような事業を開催してまいりました。例年より多く交流事業を開催いたしました。現在の浦安青年会議所に必要なもののひとつとして会員同士の交流や、事業に参画する意欲が大事だとこの1年で深く感じました。本年培ったこの会員同士の信頼関係は次年度に向けてさらに養われ、その会員の意識がさらに多くの浦安青年会議所会員伝播していくことを願っております。1年間ありがとうございました。